

Title	経済学会事業報告(昭和61年度)
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1987
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.80, No.2 (1987. 6)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19870601-0104">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19870601-0104</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 慶應義塾経済学会会則

- 第1条 本会は慶應義塾経済学会 (The Keio Economic Society) と称する。
- 第2条 本会は経済学の研究およびその奨励、ならびに会員相互の親睦を図ることを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するため次の事業を行なう。
- 1 研究会の開催
  - 2 機関誌「三田学会雑誌」およびその他研究成果の刊行
  - 3 講演会、資料展覧会の開催
  - 4 他の学会および諸団体との連絡
  - 5 その他本会の目的を達成するため適当と認める事業
- 第4条 本会は慶應義塾大学経済学部所属専任者のうち経済学を専攻する者をもって組織する。ただし特別会員をおくことができる。
- 第5条 本会に次の役員を置く。
- 1 会長 1名
  - 2 副会長 1名
  - 3 委員長 1名
  - 4 副委員長 1名
  - 5 委員 若干名
  - 6 監事 2名
- 第6条 会長、副会長、委員長、副委員長、委員および監事は、総会において決定する。
- 第7条 会長は本会を代表する。副会長は会長を補佐する。委員は委員会を組織し会務を執行する。委員長は委員会を代表し会務を統轄する。副委員長は委員長を補佐する。監事は会計を監査する。
- 第8条 会長および副会長の任期は1年、委員長、副委員長、委員および監事の任期は2年とする。ただし、再選を妨げない。
- 第9条 会長は年一回総会を招集する。ただし必要に応じ臨時総会を招集することもできる。
- 第10条 会員は機関誌「三田学会雑誌」およびその他本会刊行物の配布を受けることができる。
- 第11条 本会の経費は賛助金、補助金、会費およびその他の収入をもってこれに充てる。
- 第12条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日迄とする。
- 第13条 本会会則の変更は総会の決議による。
- 第14条 本会の事務所は慶應義塾経済学部研究室内に置く。

## 経済学会委員 (1987.4 改選)

会 長	飯 田 鼎		
副 会 長	富 田 重 夫		
委 員 長	浜 田 文 雅		
副 委 員 長	小 松 隆 二		
委 員	大 山 道 広	中 澤 敏 明	渡 辺 幸 男
	大 村 達 弥	杉 浦 章 介	細 田 衛 士
	塩 澤 修 平	坂 本 達 哉	矢 野 久
監 事	平 野 絢 子	矢 内 原 勝	

## 経済学会事業報告 (昭和61年度)

### <刊行物>

三田学会雑誌79巻1号から79巻6号まで刊行

Keio Economic Studies Vol. 22, No. 1, No. 2 を刊行

### <報告会>

7月17日 「Competitive Equilibrium and Wage Profit Frontier」 細田 衛士

12月18日 「法人税制と企業の動学的要素需要」 浜田 文雅

### <特別報告会>

6月12日 「ケインズ『一般理論』以後50年」 南イリノイ大学教授 高山 昂

6月20日 「一般均衡理論における集計の効果」 一橋大学教授 山崎 昭

6月27日 「Pareto Libertarian Paradox Revisited」 一橋大学教授 鈴木興太良

7月1日 「Union Power in the Long Run」 Australian National Univ. 教授 Ngo Van Lon

9月6日 「ナチズムにおける経済と社会——最近の研究についての若干の考察——」

立正大学教授 永岑三千郎  
1月28日 (小泉基金共催)

「International R&D Competition and Policy」

プリンストン大学教授 Avinash Dixit

### <会長講演会>

12月11日 「人口理論の体系化と適度人口」

安川 正寿

### <経済学会大会>

6月14日 「逆オイルショックの日米両国経済に及ぼす影響」

ハーバード大学教授 D. W. ジョルゲンソフ